

## 酸素の力で病気を治す!

### 高気圧酸素治療って聞いたことありますか?



#### 市立函館病院

中央医療技術部臨床工学科 係長

#### 本田 学 さん

「高気圧酸素治療」という言葉を耳にしたことはありませんか?この治療は、お腹や目、耳などの臓器の血の巡りの悪い病気に対して保険が適用されております。通常の気圧よりも高い環境のカプセルの中で、高濃度の酸素を吸入する治療法です。これにより、酸素不足に陥っている病変部位にも大量の酸素が供給され、病気の回復を促進します。

街のサロンなどにある酸素カプセルの、さらにパワーアップした装置と

思っていただけで間違いありません。まるで、SF映画に出てくるような、傷ついた体を短時間で回復させる装置のように、1回の治療で劇的に「超回復!」するわけではありませんが、じわじわと回復に向かいます。

ところで、私たちの体内で酸素がどのように運ばれているか、ご存知でしょうか?酸素を身体中に運ぶ方法は、主に2つの方法があります。一つは、赤血球が酸素を心臓や腎臓などの臓器へ大量に届ける方法です。

そして、この赤血球が運ぶ酸素とは別に、もう一つ酸素の運搬方法があります。それは、酸素が血液中に直接溶け込む方法です。この溶け込んだ酸素は、量は多くありませんが、赤血球がたどり着けないような、非常に細い血管の奥まで入り込むことができます。それにより、お腹や目、耳などの臓器の隅々まで酸素を届けることができるのです。この「血液に溶ける酸素」を劇的に増やすことができる装置が、高気圧酸素治療装置なのです。

酸素は私たちの身体の細胞にとって、生きていく上で欠かせないエネルギー源(お食事)です。病気やけがによって、血液の流れが悪くなったり、組織が損傷したりすると、必要な酸素が十分に届かなくなり、回復が遅れ症状が悪化したりすることがあります。例えば、腸の動きが悪くなる腸閉塞、突然耳が聞こえなくなる突発性難聴、急に目が見えなくなる網膜動脈閉塞症など、さまざまな疾患が適応となります。

治療中は、飛行機に乗った時と同じように耳が痛くなる場合があります。苦手な方は少し苦労するかもしれませんが、身近な酸素の力を借りて病気を治しましょう!